※令和４年度以降入学生用

学校番号	3004

令和５年度　芸術科

教科	芸術	科目	美術Ⅰ	単位数	２単位	年次	１年次
使用教科書	令和５年度新版教科書「高校生の美術１」　（日本文教出版）						
副教材等	なし						

１　担当者からのメッセージ（学習方法等）

・感じ取ったことから考える「絵画・彫刻」、目的や機能から考える「デザイン」、感じ取ったこと、目的や機能から考える「映像メディア表現」と「鑑賞」の分野について学習します。
・一人ひとり、思いや見方、感じ方が違います。表現形式の特性や形体・色彩などについて着目して、自分なりの感じ方や見方、表現を深めていきましょう。違った見方を「鑑賞」で共有すると、また更に広がったり深まったりします。

２　学習の到達目標

・造形的な視点について理解を深めるとともに、意図に応じて表現方法を創意工夫し、創造的に表すことができる。
・造形的な良さや美しさ、表現の意図と創意工夫、美術の働きなどについて考え、新たな視点や気付きをもって創造的に発想・構想し、価値意識をもって美術文化に対する見方や感じ方を深めることができるとともに、他者の作品を認め相互理解を図ることで、自己の作品を通じて客観的視点を養うことができる。
・美術の幅広い活動を通して、生涯にわたり美術を愛好する心情を育てるとともに、感性を高め、創造的な表現と鑑賞の能力を伸ばし、美術文化についての理解を深め、心豊かな生活や社会を創造していく態度を養う。

３　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技能	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	・対象や事象を捉える造形的な視点について理解を深めて表現が行われているか、また、創造的な美術の表現をするために必要な技能を身に付け、意図に応じて表現方法を創意工夫しているかを評価します。	造形的な良さや美しさ、表現の意図と創造的な工夫、美術の働きなどについて考えるとともに、主題を生成し、発想や構想を練ったり、美術や美術文化に対する見方や感じ方を深めたりしているかを評価します。	美術の創造活動の喜びを味わいながら、美術や美術文化と豊かに関わり、主体的に表現および鑑賞の創造活動に取り組もうとしているかを評価します。

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

※令和４年度以降入学生用

４　学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元(題材)の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
1学期	身近なものを描く	【鑑賞】【絵画・彫刻】 ・人物クロッキー(毎時間行う) ・基本形体の基礎 ・靴のデッサン 1. 主題の設定 基本的な形の描き方を理解したうえで、観察する。 2. 構図を考える 対象が持つ美しさが引き立つ構図やバランスなど造形的な視点を大切にしながら決定する。 3. 制作 造形的な見方を働かせながら、用具の特性を生かした表現を創意工夫し創造的に表す。制作途中に、相互鑑賞を行い、意見交換を参考に自分の作品を見つめなおして主題を明確にしていく。 4. 鑑賞 お互いの完成作品を振り返りシートを元に鑑賞し作者の心情や表現の工夫を共有する。	a：(知識)形や色彩、材質や光によって見え方が変わる造形的特徴を捉えたり、作品全体のバランスをとることができているか。 (技能)対象を見つめて形体の特徴をつかみ、構成などを工夫して用具の特性を生かすことができているか。 b:(発想や構想)造形的な見方を働かせながら、対象の色や形の面白さ、質感などに内在する美しさを感じ取り創造的に表現できているか。 (鑑賞) 他の生徒の作品を見て、作品の良さを感じ取り、表現への理解を深めることができているか。 c:自分の作品としっかりと向き合い、自身の表現したいことに結び付けられているか、鑑賞や振り返りシートで主体性をもって意見交換や鑑賞に取り組むことができているか。	ワークシート ワークシート スケッチ スケッチ 制作途中の作品 提出作品 振り返りシート	取組み状況 制作途中の作品 提出作品 相互評価シート	ワークシート ワークシート スケッチ スケッチ 制作途中の作品 振り返りシート

※令和４年度以降入学生用

	図形を用いた色彩構成	【デザイン】【鑑賞】 ・色彩基礎 ワークシートをもとに、色彩の原理を理解する。 ・色彩構成 1. 理解と鑑賞 作品例やポスター等を鑑賞し、色による造形的特徴を学び、理解する。 2. 主題の設定 ワークシートをもとに、簡単な図形で作り出される作品の主題をスケッチし整理する。 3. 制作 発想や構想に応じて絵の具や用具の特性を生かして表現方法を工夫し造形的に表す。配色カードを用いて明度・彩度・配色を工夫する。 4. 鑑賞 お互いの完成作品を振り返りシートを元に鑑賞し、作者の心情や表現の工夫を共有する。	a:（知識）色彩の原理を理解し、その効果に関心を持ち、作品のイメージを捉えることができているか。 （技能）作品の意図に応じて絵の具や用具の特性を生かすとともに、表現方法を工夫して主題を追求することができているか。 b:（発想や構想）造形的な見方を働かせながら、配色や構図などを考えて創造的に表現できているか。 （鑑賞） 他の生徒の作品を見て、作品の良さを感じ取り、表現への理解を深めることができているか。 c:主体的に作品としっかりと向き合い、自身の表現したいことに結び付けられているか。鑑賞や振り返りシートで主体性をもって意見交換や鑑賞に取り組むことができているか。	ワークシート ワークシート ワークシート アイデアスケッチ 制作途中の作品 提出作品 振り返りシート	取り組み状況 制作途中の作品 提出作品 相互評価シート	ワークシート ワークシート ワークシート アイデアスケッチ 制作途中の作品 取り組み状況 振り返りシート

※令和４年度以降入学生用

	立体模写彫刻	【絵画・彫刻】【鑑賞】 1. 主題の設定 モチーフとなる立体をじっくりと観察し、作りたい形と作品の主題を考える。 2. 構想を練る アイデアスケッチをもとに完成イメージを広げ、材料をどのように削り出していくかの構想を練る。 3. 制作 発想や構想に応じて材料や用具の特性を生かした表現を創意工夫し創造的に表す。制作途中に、相互鑑賞を行い、意見交換を参考に自分の作品を見つめなおして主題を明確にしていく。 4. 鑑賞 お互いの完成作品を振り返りシートを元に鑑賞し作者の心情や表現の工夫を共有する。	a:（知識）モチーフとなる立体物の形や色彩、材料の性質やそれらの造形的特徴を捉え、作品のイメージを形にすることができているか。 （技能）作品の意図に応じて材料や用具の特性を生かすとともに、表現方法を工夫することができているか。 b:（発想や構想）造形的な見方、考え方を働かせながら、感じ取ったことや考えたことを創造的に表現できているか。 （鑑賞）他の生徒の作品を見て、作品の良さを感じ取り、表現への理解を深めることができているか。 c:モチーフを見つめてアイデアスケッチや下描きを何度も行い、主体的に創造的な表現に結び付けられているか。鑑賞や振り返りシートで主体性をもって意見交換や鑑賞に取り組むことができているか。	アイデアスケッチ アイデアスケッチ 制作途中の作品 提出作品 振り返りシート	アイデアスケッチ 制作途中の作品 提出作品 相互評価シート	アイデアスケッチ 振り返りシート

※令和４年度以降入学生用

2学期	ショッピングバッグデザイン	【デザイン】【鑑賞】 1. 理解と鑑賞 作品例や実際のショッピングバッグを鑑賞し、色による造形的特徴を学び、理解する。 2. 主題の設定 ワークシートをもとに、作品の主題をグループで決定し、パッケージのイメージや主題を、アイデアスケッチをもとに考える。 3. 試作と構想を練る 試作を行い、途中で相互鑑賞を行う。意見交換を参考にして自分の表現や主題を明確にしていく。 3. 制作 発想や構想、試作を通じて得た材料や用具の特性を生かして、表現方法を工夫し造形的に表す。 4. 鑑賞 お互いの完成作品を振り返りシートを元に鑑賞し、作者の心情や表現の工夫を共有する。	a:（知識）生活や社会の中での美術の働きや効果を理解し、色彩や材質の造形的特徴を捉え、作品のイメージを形にすることができているか。 （技能）作品の意図に応じて材料や用具の特性を生かすとともに、表現方法を工夫して主題を追求することができているか。 b:（発想や構想）造形的な見方を働かせながら、目的や機能などを考えて創造的に表現できているか。 （鑑賞）他の生徒の作品を見て、作品の良さを感じ取り、表現への理解を深めることができているか。 c:試作を通じてアイデアスケッチや下描きを行うことで、主体的に創造的な表現に結び付けられているか。鑑賞や振り返りシートで主体性をもって意見交換や鑑賞に取り組むことができているか。	ワークシート アイデアスケッチ 試作の作品 提出作品 振り返りシート	取り組み状況 試作の作品 提出作品 相互評価シート	ワークシート アイデアスケッチ 試作の作品 取り組み状況 取り組み状況 振り返りシート

※令和４年度以降入学生用

	オカリナ制作	【絵画･彫刻】【デザイン】 【鑑賞】 1. 主題の設定 ワークシートをもとに、オカリナの仕組みや材料、手順を理解したうえで、実際に観察し主題を考える。 2. 構想を練る 作品の完成イメージを持ち、造形的な視点を大切にしながら構想を練る。 3. 制作 造形的な見方を働かせながら、用具の特性を生かした表現を創意工夫し創造的に表す。制作途中に、相互鑑賞を行い、意見交換を参考に自分の作品を見つめなおして主題を明確にしていく。 4. 鑑賞 お互いの完成作品を振り返りシートを元に鑑賞し作者の心情や表現の工夫を共有する。	a:（知識）楽器の形が持つ機能美やデザインの美しさに関心を持ち、材料の性質やそれらの造形的特徴を捉え、作品のイメージを形にすることができているか。 （技能）作品の意図に応じて材料や用具の特性を生かすとともに、表現方法を工夫することができているか。 b:（発想や構想）造形的な見方、考え方を働かせながら、感じ取ったことを創造的に表現できているか。 （鑑賞）他の生徒の作品を見て、作品の良さを感じ取り、表現への理解を深めることができているか。 c:制作における工程を主体的に理解し、グループ内での相互の協力に積極的に取り組めているか。アイデアスケッチを行い、創造的な表現に結び付けられているか。鑑賞や振り返りシートで主体性をもって意見交換や鑑賞に取り組むことができているか。	アイデアスケッチ 制作途中の作品 提出作品 振り返りシート	アイデアスケッチ 制作途中の作品 提出作品 相互評価シート	アイデアスケッチ 振り返りシート

※令和４年度以降入学生用

	写真を用いたアニメ表現	【デザイン】【鑑賞】 1. 理解と鑑賞 作品例を鑑賞し、作者の意図や表現の工夫を感じ取り、理解する。撮影方法による印象の違いやアニメーションならではの動きなどから主題を考える。 2. 主題の設定 ワークシートをもとに、撮影方法による印象の違いやアニメーションならではの動きなどから主題を考え、グループで設定する。 3. 試作と構想を練る 試作を行い、途中で相互鑑賞を行う。意見交換を参考にして自分の表現や主題を明確にしていく。 3. 制作 発想や構想、試作を通じて得た機材や用具の特性を生かして、表現方法を工夫し造形的に表す。 4. 鑑賞 お互いの完成作品を振り返りシートを元に鑑賞し、作者の心情や表現の工夫を共有する。	a:（知識）形や色、材料、光、動きなどが感情にもたらす効果や、造形的特徴などをもとに、作品のイメージを形にすることができているか。 （技能）作品の意図に応じて材料や用具の特性を生かすとともに、撮影の方法や用いる材料などを工夫し、表現の意図を効果的に表すことができているか。 b:（発想や構想）造形的な見方を働かせながら、映像メディアの特性を生かして表現の主題を生成し、視覚的要素の働きやコマの動きの変化について考え、創造的な表現の構想を練っているか。 （鑑賞）他の生徒の作品を見て、作品の良さを感じ取り、表現への理解を深めることができているか。 c:試作を通じてアイデアスケッチや下描きを行うことで、創造的な表現に結び付けられているか。鑑賞や振り返りシートで主体性をもって意見交換や鑑賞に取り組むことができているか。	ワークシート アイデアスケッチ 試作の作品 提出作品 振り返りシート	取り組み状況 試作の作品 提出作品 相互評価シート	ワークシート アイデアスケッチ 試作の作品 取り組み状況 取り組み状況 振り返りシート

※令和４年度以降入学生用

3学期	抽象彫刻制作	【絵画･彫刻】【鑑賞】 1. 主題の設定 ワークシートをもとに、自己をあらわすことに関心をもち、自分を見つめ感じ取ったことから主題を設定する。 2.構想を練る 主題から発想を広げ、作品形態や表現方法など造形的視点を大切にしながらアイデアスケッチで構想を練る。 3. 制作 発想や構想に応じて材料や用具の特性を生かして表現方法を工夫し造形的に表す。制作途中に相互鑑賞を行い、意見交換を参考に自己の表現をより深めて明確にする。 4. 鑑賞 お互いの完成作品を振り返りシートを元に鑑賞し、作者の心情や表現の工夫を共有する。	a:（知識）形や色彩、材料の性質やそれらの造形的特徴を捉え、作品のイメージを形にすることができているか。 （技能）作品の意図に応じて材料や用具の特性を生かすとともに、表現方法を工夫することができているか。 b:（発想や構想）造形的な見方、考え方を働かせながら、感じ取ったことや考えたことを創造的に表現できているか。 （鑑賞）他の生徒の作品を見て、作品の良さを感じ取り、表現への理解を深めることができているか。 c:モチーフを見つめてアイデアスケッチや下描きを何度も行い、主体的に創造的な表現に結び付けられているか。鑑賞や振り返りシートで主体性をもって意見交換や鑑賞に取り組むことができているか。	ワークシート アイデアスケッチ アイデアスケッチ 制作途中の作品 提出作品 振り返りシート	アイデアスケッチ 制作途中の作品 提出作品 相互評価シート	アイデアスケッチ 取り組み状況 振り返りシート

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度